



社会福祉法人宇奈月福祉会 様 (所在地：富山県黒部市)

特別養護老人ホーム、通所介護、訪問介護、グループホーム事業、居宅介護支援事業、保育園事業など、介護・保育サービスを提供する総合福祉施設。

常に5年10年を見据え、理念の共有、事業計画・事業所目標の設定を行い、質の高いサービスを効果的・効率的に提供されています。

導入事例 ケアぼけっと勤怠

勤怠の見える化で職員の意識改革！

打刻や申請を“迷わず・確実に”行える環境に

日々の打刻や月末締め作業の負担、紙やExcelが混在する運用など、勤怠管理の負担を軽減すべく介護施設向けのクラウド型勤怠管理システム『ケアぼけっと勤怠』を導入。

顔認証打刻によりスムーズな打刻を実現し、月末締めは5割以上の時間削減が実現できました。勤怠情報も一元化され、申請漏れ防止や勤怠の見える化による職員の意識向上につながった事例をご紹介します。

取材協力
事務長 芦崎 高志 様

導入事例
完全版を見る



課題

- ・負担の少ない打刻運用を実現する体制整備
- ・円滑な締め作業のための業務分散と効率化
- ・正確な勤怠運用とExcel/紙からの脱却

効果

- ・顔認証で打刻は一瞬！
なりすましを防ぐシンプルで正確な打刻に
- ・月末締めの混雑解消で作業時間5割減
- ・「勤怠の見える化」で職員の意識向上！

—検討のきっかけを教えてください—

既存の勤怠管理方法では、打刻場所の固定による職員の負担や月末締め作業の業務負担が年々増加。勤怠管理をより効率的に運用できる方法を検討するため、HCSさんに相談しました。

—どのような課題をお持ちでしたか？—

打刻機器は事務所入口にのみ設置され「事務所で打刻 → 各事業所へ移動」という運用でした。敷地内に事業所が点在しているため、1回の打刻に30秒~1分以上を要し、車で移動する職員も多く、日常的な負担に。打刻時に勤務区分の選択が必要のため、毎日複雑な勤務区分の把握を要し、選択ミスも多発していました。

月末締め作業時は1台の打刻専用機器を

使う必要があるため、責任者が事務所に集まり作業待ちや移動の手間が常態化。作業は6時間程かかることもあり、月末特有の業務負担は大きなストレスでした。

また、勤怠管理は複数媒体に分散しており、統一した運用ができていませんでした。特に紙申請は手書きや押印の負担が大きく、提出遅れや未提出が発生。確認作業の煩雑さと情報の流れが一貫しないことで、現場と責任者双方の負担となっていました。



—採用の決め手を教えてください—

クラウド型で導入できる点です。従来の「人と作業が集中すること」を根本から解消できると判断。顔認証打刻や操作のシンプルさ、コスト面も含めて運用改善による費用対効果の面でも十分に合理性があると感じました。

—効果はいかがですか？—

各事業所で顔認証打刻が可能となり、打刻は「一瞬」で完結できます。事務所へ立ち寄る必要がなくなり、移動のムダが解消し、打刻忘れ等も大幅減少。世代

を問わず使いやすく、打刻の正確性向上など勤怠管理の信頼性も高まりました。手書きや押印による運用もゼロとなり、日々の業務が大きく効率化しました。

締め作業を各事業所で対応できるので、作業待ちや混雑が解消。作業は約5割削減され、時間的・精神的な負担が軽減しました。また、AIチャットボットの活用で、操作に関する問い合わせも分散し、締め作業がスムーズに進みます。

勤怠情報を一本化し、打刻状況の可視化が実現したことで、自身の勤怠を正確に把握できます。「負荷・必要体制」確認により、人員の過不足も把握でき、感覚に頼らない公正なシフト調整を実現。予定と実績の可視化で、勤怠管理を“自分ごと”として捉える意識が定着し、組織全体の意識の向上にもつながりました。

—今後の取り組みや展望を教えてください—

勤怠データを活用して業務負荷やシフト構造を見直し、職員が本来の業務に集中できる環境を整えることで「働きやすさ・ケアの質」両立を目指したいです。

社会福祉法人 宇奈月福祉会

笑顔の花を咲かせます

UNAZUKI FUKUSHIKAI



お知らせ

とやまDXパートナーとして登録されました。

先月、当社は、富山県が主導する「とやまDX推進コンソーシアム」において、とやまDXパートナーとして登録されました。今後も、地域におけるDX推進に関する取り組みに参画してまいります。

オンデマンド配信のご案内

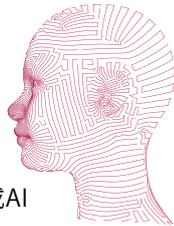
トークセッション

AIの時代を迎えた新たな潮流と未来

HCSフェアで多くの反響をいただいた、生成AI推進に取り組む講師陣2名によるトークセッションを、期間限定でオンデマンド配信中です。配信はまもなく終了。この機会にぜひご覧ください！



※お申込み受付後、動画URLとパスワードをメールいたします。



イベント出展のご報告

「CareTEX 東京2026」に初出展しました！

2月25日(水)～27日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された「CareTEX 東京2026」に初出展しました。

当社ブースでは、介護・福祉に特化した勤怠管理システム「ケアぼけっと勤怠」をご紹介するとともに、新機能として開発を進めているメンタルヘルスクア機能について、実際の画面をご覧いただきながらご案内しました。会期中は多くの来場者の皆さまにお立ち寄りいただき、誠にありがとうございました。



また、勤怠管理とAIによるシフト自動作成の一体化を見据えたニーズ調査も実施しました。

ケアぼけっと勤怠のブラッシュアップに向け、本調査は引き続き実施しております。ぜひ皆さまの貴重なご意見をお聞かせください。

アンケートにご回答いただいた方には、CareTEXでも好評だった今治タオルとオリジナルコーヒーをプレゼントしています。



HCSのよここが

サービスサポート本部
センター事業部 データセンター **朝野 恭平** さん

Q. 業務内容を教えてください。

データセンター業務に携わり、法人向けプロバイダーサービスの提携作業やサポート対応を担当しています。

お客さまからのお問い合わせには、影響範囲や周辺状況まで丁寧に確認し、早期解決につなげることを意識しています。例えば「メールが使えない」

といった場合も、根本原因を特定し、再発防止まで見据えた対応を心掛けています。最近では、「Oens/ハウジングサービス」で「ISO/IEC 20000-1:2018」認証取得にも携わり、安定したサービス提供体制の構築に取り組みました。

今後は業務の定型化や文書化を進め、積極的に情報発信を行い、より安心

してご利用いただける環境づくりに貢献したいです。

Q. 趣味や最近のMyニュースを教えてください。

月2回程ある出張の空き時間で、観光を楽しんでいます。普段は行かない場所を巡るのが新鮮で、最近では神田明神に行きました。建物の迫力に驚き、境内の馬も印象的でした。以前行った皇居は回りきれなかったのもう一度じっくり回りたいです。



編集後記

三寒四温の言葉どおり、寒さの中にも少しずつ春の気配を感じる頃となりました。寒暖差の大きい時期ですので、体調管理には十分気を付けながら、残り少ないこの季節を楽しみたいです。

さて本号では、打刻場所の固定や月末締め作業の集中など、勤怠管理の負担に課題を抱えていた施設さまが、『ケアぼけっと勤怠』を導入し、業務効率化と職員の意識改革を実現された事例をご紹介します。勤怠管理業務に課題を感じている方や、より良いマネジメント、職員満足度の向上を目指されている方は、ぜひ一度弊社へご相談ください！（うえずぎ）

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら→



全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/